

2025 年度第二次教育学研究科 入学試験問題(直接解答)

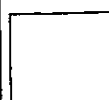
博士課程後期課程	共生教育研究領域	試験科目 専門科目	受験番号 番
----------	----------	--------------	-----------

解答記入不可

↑

問題 1

「臨床の知」という言葉は、「科学の知」と対照的な意味で考案された（中村雄二郎）。臨床心理学や臨床教育学、あるいは各研究領域の知見をふまえ、あなたが考える「臨床の知」の内実をできるだけ言葉を尽くして説明せよ。



3枚中

1

2025 年度第二次教育学研究科 入学試験問題(直接解答)

博士課程後期課程

共生教育研究領域

試験科目

専門科目

受験番号

番

解答記入不可

↑

問題 2

SDGs (持続可能な開発目標) の一つに「ジェンダー平等を実現しよう」とあるが、日本の学校教育においてどのような実践が可能か。その実践の意義や課題もふまえて論ぜよ。

3枚中

2

2025 年度第二次教育学研究科 入学試験問題(直接解答)

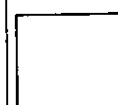
博士課程後期課程	共生教育研究領域	試験科目 専門科目	受験番号 番
----------	----------	--------------	-----------

解答記入不可

↑

問題 3

メタ認知 (Metacognition) について説明し、学校教育における子どもへの支援の必要性について論ぜよ。



3枚中

3

2025 年度 第二次 教育学研究科入学試験問題

博士課程後期課程／共生教育研究領域／専門科目（出題意図）

出題意図

[問題 1]

教育学を研究するうえで、最も基礎的な視座ともいえる、「臨床の知」と「科学の知」の関係性について、論理的に的確に理解し表現できているかをみる。

[問題 2]

SDGs（持続可能な開発目標）やジェンダー平等（社会的文化的性差）に関する関心と、それを学校現場で実践するための知識や表現力を問う。

[問題 3]

現在の学校教育における子ども支援において、「メタ認知」が必要であることを論理的に説明する能力を問う。

2025 年度 第二次教育学研究科入学試験問題

博士課程後期課程／共生教育研究領域／専門科目（解答例）

解答例

[問題 1]

- ・「科学の知」と区別されたものとして「臨床の知」を理解し、その内容を論理的に表現している。両者は、対立しながらも補完し合いながら、人間についての学問を成立させていることを論理的に表現し、自分の専門領域での「臨床の知」の意義について考えを述べている。
- ・臨床心理学や臨床教育学等の先行的な研究者の考え方の基礎について、各自の専門性に応じて選択し、適切に言及しながら、自分の考えを展開している。
- ・具体的な経験や実例、物語等を、理論的な抽象性と往復させながら、自分の考えを論理的に展開している。

[問題 2]

- ・日本の学校教育の実態について、事例をもとに論じていること。
- ・SDGs やジェンダーについての理論や実践について、学習者の実態をふまえて論じていること。

[問題 3]

- ・メタ認知（Metacognition）の説明をする。
- ・現在の学校教育における子どもの支援に関して、メタ認知（Metacognition）の必要性を述べる。